

NetScreen-Remote VPN Client 8.3 制限事項 (改訂 2)

拝啓、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度は NetScreen-Remote をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品には下記の制限事項がございます。今後とも本製品をご愛顧くださいますよう、宜しくお
 願い申し上げます。

敬具

記

1. 制限事項

項番	内 容	対策予定 バージョン
1	rmlim0001: ポリシー名称に半角 92 桁以上のものがある状態でセキュリティポリシーを エクスポート - > インポートすると、以降アプリケーションエラーで セキュリティポリシーエディタがオープンできなくなる。 <回避策> ポリシー名称に半角 92 桁以上を指定しないでください。	調整中
2	rmlim0003: NetScreen-Global PRO の Auth&Go 機能 (VPN に必要な情報を自動的に読み込む 機能) を使用する場合、NetScreen-Global PRO NetScreen-Remote 間の通信 経路上で tcp/1099 番ポートの通信を通過させるようマニュアルに記述してある が、それ以外に 11111,11112,42469 番ポートの通信も通過させる必要がある。 <回避策> NetScreen-Global PRO の Auth&Go 機能を使用する場合、通信経路上で 11111,11112,42469 番ポートの通信が通過するよう設定してください。	調整中
3	rmlim0004: NetScreen-Global PRO にて Optional Policy Purge を使用すると NetScreen-Remote にて下記エラーが発生する。 タイトル: Retrieve VPN Policy メッセージ: Exception occurred. netscreen.arg.exceptions.ANGException: Unable to purge file in startup. Application failed. <回避策> 本制限を踏まえた上で運用願います。	調整中
4	rmlim0005: NetScreen-Remote の File-based IPsec Logging にて指定したファイルサイズが 適用されずログファイルに追記しつづける。 <回避策> 適宜ログファイルのメンテナンスを行い回避ください。	調整中
5	rmlim0006: HUB&Spoke の構成にて L2TP 接続している NetScreen-Remote 機より各 Spoke 側の NetScreen に接続しているコンピュータへアクセスすると no policy エラーとな りアクセスできない。 <回避策> 本制限を踏まえた上で運用願います。	調整中

6	rmlim0007: NetScreen-Remote 機より NetScreen へ NAT-Travasal かつ L2TP 接続を行うと Phase2 にて no policy エラーとなり接続できない。 <回避策> 本制限を踏まえた上で運用願います。	調整中
7	rmlim0008: NetScreen-Remote Setup より構成変更を行った場合、確認画面を経ずに再起動する場合がある。 <回避策> NetScreen-Remote Setup 使用する時は事前に他アプリケーションを終了ください。	調整中
8	rmlim0009: Windows XP(日本語版)へ NetScreen Remote をインストール中「このハードウェアを使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、WindowsXP との互換性を検証する Windows ログテストに合格していません。」というメッセージが表示される。 <回避策> 「続行」を選択してインストールを続行してください。	調整中
9	rmlim0011: XauthClient として NetScreen-Remote 8.3 を使用する場合、10 桁を超えるパスコードを使用すると、認証に失敗する。 <回避策> パスコードを 10 桁以内とするか NetScreen-Remote 8.1 をご使用ください。	調整中
10	rmlim0013: ルータ装置等を介さずに PPPoE 回線を WindowsXP の機能を使い NetScreen-Remote の PC を直接接続している場合、1330 バイトを超える ICMP 通信を VPN 経由で送出できない場合がある。 <回避策> 下記二点のいずれかとなります。 (1)フラグメントの発生しないパケットサイズにて通信 (2)ルータ装置等を介して通信 また TCP, UDP 等その他影響範囲については確認中です	調整中
11	rmlim0014: マルチプロセッサ(SMP)やマルチコア(HT)構成の CPU が有効に動作している Windows OS にて NetScreen-Remote を導入した場合、突然ブルースクリーン(STOP: 0x000000D1)となる場合がある。 <回避策> 下記二点のいずれかとなります。 (1)マルチプロセッシングに対応している NetScreen-Remote 8.5 以降を導入 (2)Windows OS をシングルプロセス用のカーネル・設定とする	調整中

1. 当ドキュメントの更新について

当ドキュメントの内容は、不具合等の発生状況や調査状況にあわせ随時更新しております。最新の内容につきましては弊社サポートサイトをご参照ください。

弊社サポートサイト：

http://www.hitachi-system.co.jp/netscreen/sp/21_user_spp/user_sup.htm
(アクセスには基本保守契約によるユーザID/パスワードが必要です)

テクニカルサポート、バージョンアップには、ソフトウェア製品保守サポートサービス (初年度から有償) のご契約と、ユーザ登録が必要となります。詳しくは同梱しております「NetScreen シリーズ製品保守サポートサービス仕様書」と「NetScreen 保守サポートサービス申込書 (兼ユーザ登録申込書)」をご覧ください。

- 以上 -